

柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館モノがたり

木喰上人作 薬師如来像の微笑み



薬師如来 文化2(1805)年作 旧高柳町・個人蔵(当館寄託)

同 背銘

2階人文展示室には江戸後期の作仏聖・木喰上人(1718~1810)の作品10躯が展示されています。うち満面の微笑みをたたえる本像は、ケヤキ材による一木造りで、像高58cm、重さ7kg弱の小さな薬師如来像です。今日では、その愛らしさにおいて数ある木喰仏の中で随一と評価が高く、全国から出展依頼が相継ぐ存在となりました。しかしその発見は比較的新しく、昭和46(1971)年に行われた故・三宮勉氏の確認調査によってでした。大正末期、民藝の創始者・柳宗悦(1889~1961)は、木喰仏に魅せられ、独特の笑みをたたえた晩年の作品群を「微笑仏(みしょうぶつ)」と名付けましたが、その柳自身も本像の微笑みに出逢うことは叶いませんでした。もし柳がこの優品と対面していたら、きっと欣喜雀躍したことでしょう。

背銘には「文化二牛歳六月五日」の紀年、頭光裏には「バイ(薬師如来種子)」、その周りには自らの長寿を願う「壽百萬歳」を墨書します。もとは旧高柳町岡野町にある観音堂に安置され、当時はイボなどの皮膚病に効験があると近郷の篤い信仰を集めていました。堂内の仏前には川原の小石がうず高く積み、願掛けの際にはその小石を持ち帰り、治ると自分の年の数だけ石を奉納したといわれます。庶民救済を第一義とした木喰上人にとって「わが意を得たり」の姿と言えます。

その後、木喰仏の評価が高まると、管理上の問題から所蔵者宅で長く保管・安置されてきました。嬉しいことに令和6年夏、所蔵者のご意向で当館に寄託されることになり、さらに常設展示でできるようになりました。従来の木喰コーナーに至高の微笑仏が加わり、10躯の木喰仏の展覧が叶いました。これほど充実した木喰コーナーが実現できたのも、当市が83躯を有する「木喰仏の宝庫」だからこそです。ぜひ、心暖まる極上の微笑みをご堪能ください。(渡邊 三四一 学芸員)

友の会行事報告

学芸員のオタク講座⑩ 土に暮らす生き物たち

12月6日(土)13時～15時 参加者11名



土に暮らす土壌動物と、プラナリアの仲間「コウガイビル」の生態について市村瑠美学芸員から解説がありました。自然系の講座は久々であり、生き物の奥深い世界について学びました。講義終了後には質問が飛び交い、参加者の関心の高さがうかがえました。

もうすぐお正月 八丁紙づくり

12月25日・26日(木・金)9時～17時 参加者15名

年末恒例の八丁紙づくり。天候が不安定な日もありましたが、今年も沢山の方々が参加されました。翌年の干支・午年にちなんで馬の絵柄が人気でした。完成した八丁紙を手し、皆さん「毎年八丁紙を作るのが楽しみ」「これでお正月の準備ができました」と喜んでいました。



季節の和菓子 桜餅をつくる

2月19日(木)9時～12時 参加者16名

和菓子職人の金子豊さんのご指導で焼皮桜餅と道明寺桜餅づくりに挑戦しました。窓の外はなごり雪ですが調理室は熱気でいっぱいです。焼皮桜餅は焼皮の大きさと焼き加減がとても大切で、道明寺は“つや”を出すために溶かした寒天で仕上げるとの事でした。説明を聞くと納得しますが、いざ自分でやるとなかなか上手くできません。ところが焼皮桜餅を作る金子さんの手はまるで魔法使いのようで、和菓子づくりは熟練の工夫と細やかな気配りだと感じることができました。なんとか不揃いの桜餅が出来上がりました。それを持ち帰って美味しくいただきました。

季節は2月で桜の花はまだ咲きませんが、一足お先に春を満喫しました。また来年も和菓子づくりを楽しみにしています。
(会員 井倉 香)



学芸員のオタク講座⑪ お洒落な縄文、小粋な弥生

2月28日(土)13時～15時 参加者9名



縄文・弥生時代のファッションやアクセサリーについて、中野純学芸員(図書館)から解説がありました。日本各地の遺跡から出土した遺物の紹介や、柏崎市内で発見された実物の出土品を用いた解説により、バリエーションに富んだ装身具の数々を見ることができました。



友の会行事報告

渚の宝もの② ビーチガラスのオブジェづくり 3月4日(水)9時～13時 参加者19名

友の会通信で「ビーチガラスのオブジェづくり」の案内を見て、「ハンダを使って」という一文に怖そうだなあと思い敬遠していましたが、今回思い切って参加させていただきました。

会場では沢山のビーチガラスや貝がら、陶器片がありました。講師の先生からのアドバイスで貝を花びら風にして周囲にグリーン系のビーチガラスを配し、陶器片を1つアクセントにしてみました。ハンダは講師の先生の分かり易い説明と厳重な注意で慎重に使用することができました。灯りを点すと貝の花びらが赤く映え、とても美しい作品になりました。

親切にご指導して下さいました渚を楽しむ会の皆様、ありがとうございました。

(会員 佐藤 雅子)



4月～6月の友の会行事案内

お申込み方法

参加者募集

行事の申し込みは **4月7日(火)9時から** 受付いたします。 ※休館日は受付できません。

電話で友の会事務局(0257-22-0567)にお申込みください。

その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。



清流の里・谷根でバードウォッチング

谷根川のせせらぎを聞きながら愛らしい野鳥たちの姿や声を楽しめます。

日 時 4月24日(金)8:30～11:00
集 合 上米山コミュニティセンター前駐車場
講 師 かしわざき野鳥の会の皆さん
定 員 12名(先着順)
参加費 会員無料、非会員500円
用 意 水筒・山歩きの服装



学芸員のオタク講座⑱ 山城探訪 ―北条城跡を歩く―

北条毛利氏が築いた山城・北条城跡に遺る空堀・土塁などの遺構を学芸員の案内で現地見学します。

日 時 5月9日(土)9:00～12:00(雨天時は座学のみ)
集 合 博物館(座学後、博物館車で現地へ移動)
見学地 北条城跡(林道から徒歩約10分)
講 師 伊藤啓雄学芸員
定 員 12名(先着順)
参加費 会員無料、非会員500円
用 意 水筒・山歩きの服装



北条城跡碑



シリーズ「金の道」を行く③ 柿崎～高田宿編

上越市域の北国街道の史跡名所を巡り、高田宿エリアは地元ガイドさんの案内で散策します。

日 時 5月28日(木)9:30～16:30

集 合 博物館下駐車場(大洲コミセン斜め向かい)

見学地 午前:柿崎道標、潟町道標、春日新田宿馬市跡・春日神社の力士像(悪田の渡部親子作)

※天気なら柿崎中央海岸で浜下駄体験

昼食:多七(ホテルハイマート) 名物「めぎす天ぷら」御膳

午後:加賀道・奥州道追分道標、本町界限まち歩き(町屋小町・旧今井染物屋・雁木通り)、高田世界館(明治44年築)、高橋孫左衛門商店(日本一古い飴屋)、伝・金蔵跡、伊勢町一里塚題目塔など

定 員 19名(先着順)

参加費 会員 7,000円、非会員 9,000円(バス代・入館料・昼食代含む)



高橋孫左衛門商店



雁木通り



高田世界館(場内)



旧今井染物店



学芸員のオタク講座⑱ 渚のフォークロア —漂着物をめぐる民俗文化—

200年前に宮川に流れ着いた異形の面相を刻む「娥眉山下橋」標木をはじめ、海からの寄り物(漂着物)をめぐる民俗文化を探ります。

日 時 6月13日(土)13:00～15:00

会 場 博物館小ホール

講 師 渡邊三四一学芸員

定 員 15名(先着順)

参加費 会員無料、非会員500円



鯨塚(長岡市寺泊)



娥眉山下橋 標木(貞観園蔵)

事務局退任のご挨拶

このたび、一身上の都合で博物館を退職するにあたり、友の会事務局も退任させていただくことになりました。短い間でしたが、会員の皆さまから温かいご指導をいただいたり、気さくに話しかけてもらったりと、とても貴重で楽しい1年間でした。これからも皆さまに支えられながら、博物館友の会が楽しい学びの場として発展していくことを願っています。ありがとうございました。(榎井辰哉)

2月に開催されたミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、多くの種目で日本人の活躍をテレビでライブ観戦し、寝不足となった方が多かったことと思います。私は、アイススケートペアのショート5位から逆転した「りくりゅう」ペアのフリー演技に涙した一人です。次は、3月5日から開催される世界ベースボールクラシックです。友の会通信が発行される頃には勝敗が決していると思いますが、日本の優勝を応援したいと思います。

今年度も多くの皆様から博物館友の会行事にご参加いただきありがとうございました。令和8年度も学芸員と共に現地学習や日本文化の体験講座等に引き続きご参加いただきますようお願い申し上げます。(編集委員 田村光一)